

令和 4 年度 第 2 次香取市総合計画 後期基本計画

かとりみらい会議実施報告書

(暫定版)

令和 4 年 7 月

香 取 市

目次

第1章 実施概要.....	1
1. 目的・活用方法.....	2
2. 実施日時・場所.....	2
3. 参加者.....	2
4. プログラム内容.....	3
第2章 実施結果.....	5
1. 産業・経済の振興.....	6
2. 生活・環境の向上.....	10
3. 健康・福祉の充実.....	14
4. 教育・文化の振興.....	18
5. 都市基盤の整備.....	23
6. 市民参画・行政の取組.....	28
第3章 参加者アンケート.....	30
1. 参加者アンケート.....	31
(参考) 当日ワークシート.....	33

第1章 実施概要

1. 目的・活用方法
2. 実施日時・場所
3. 参加者
4. プログラム内容

1. 目的・活用方法

香取市で暮らす幅広い年齢層の市民と市内に在勤・在学している皆様から多様な意見を聴取し、第2次香取市総合計画後期基本計画の内容に反映することを目的として、ワークショップを開催しました。なお、8月21日及び24日に第3回・第4回ワークショップの開催を予定しており、第1回・第2回と合わせて最終的な意見の取りまとめを行う予定となっています。具体的な反映箇所としては、「施策の展開」「現状」「主な課題」「市民・地域への期待」等の項目に反映することを想定しています。

現行計画(香取市総合計画前期基本計画の各施策ページ)※

本日の会議結果の活用方法

- 「施策の展開」の“取り組み方針”に反映
- 「現状」「主な課題」に反映
- 「市民・地域への期待」に反映

1-2 商工業

5年後の目指す姿

新規創業者や事業拡大等による、空き店舗の解消を目指します。これにより、既存商店街の魅力が向上し、地域で買い物が行われ、買い物客で賑わう商店街が形成されています。また、雇用の受け皿となる優良な事業所等が多く立地しています。

施策の成果を表す指標

指標名	指標の説明	現状値 2017(2019)	2018	2020	目標値 2022
商工業体加入事業者数	香取市工業団地と香取市商工会に加入する会員の合計事業者数 (出典：商工業体協議会)	1744 事業所	1744 事業所	1744 事業所	1744 事業所
空き店舗新規開店数	市内空き店舗が新規事業者等の受け入れ先となり、新たな空き店舗を開店した事業者数 (非短期開店の店舗) (出典：商工業体協議会)	—	3件	10件	15件

現状

- ・全国的に、市街地では空洞化や空き店舗の増加、シャッター通り化が進んでおり、中心市街地の商業活性化が課題となっています。また、工業では、担い手の確保が課題となっています。
- ・本市では、近隣の郊外型大規模ショッピングモールに買い物客が流出し、地域の商店街での消費が少なくなり、活力が低下しています。そのため、商店街活性化を図るためのイベント開催支援や、プレミアム商品券発行事業による消費喚起などの取り組みを行っています。
- ・商店街の後継者不足や高齢化、廃業等による空き店舗増加の問題を抱えています。空き店舗対策事業では、新規開業者が現行総合計画の期間中(平成20～29年度)に14件と一定の実績をあげているものの、商店街の活性化には結びついていない状況です。
- ・工業は、小規模工業団地と農工業地があり、小規模工業団地連絡協議会に参加して地域の工業振興に努めています。

主な課題

- ・市街地中心市街地の商業活性化が必要です。
- ・新たな事業分野や事業種別に対する支援の充実が必要です。
- ・空き店舗への出店者に対する支援の充実が必要です。
- ・事業継続の支援が必要です。
- ・近隣市へ流出している買い物客を取り戻すため、集客力の高い商業施設の誘致が必要です。
- ・市街地工業の活性化が必要です。
- ・潜在的な課題として地域工業の後継者の確保・支援が必要です。

施策の展開

取り組み方針①：商店街等への支援及び商業団体の支援・育成

地域の商店街の魅力向上に向けたイベント、事業等に支援を行い商店街の活性化を図ります。また、生活型工業団地や香取市商工会、商工会連合会などの各種商業団体と連携し、基盤強化、商業活性化に向けて取り組みます。さらに、今後増加することが見込まれる観光客を対象とした事業、商品の開発等を地域の職工業者や連携し促進します。

主な事業

- 商業活性化事業
- 観光客を対象とした事業、商品の開発事業
- 商工会事務所・商工会支援事業

取り組み方針②：新たな創業者等への支援と空き店舗への出店促進、事業承継の支援

新たに事業を行う創業者や新たな分野に事業展開する事業者に対し、相談、支援体制を拡充します。これに加えて、商店街の空き店舗への出店を促進し、商店街の賑わい創出に取り組みしていきます。また、事業主の高齢化や後継者不足により、廃業となるケースが増加していることから、既存商店等の価値を引き継ぎ、事業を継続し、空き店舗化を防ぐための、事業承継を推進します。

主な事業

- 創業支援事業
- 事業承継支援事業
- 空き店舗対策事業

取り組み方針③：集客力の高い商業施設の誘致

市外に流出している買い物客を市内に集客するとともに、市内での買い物物の利便性を向上を図る観点から集客力の高い商業施設の誘致を図ります。

主な事業

- 商業施設誘致促進事業

取り組み方針④：市内の工業の活性化

既存事業者が、市内で事業を継続的に行うことや新たな設備投資、事業規模の拡大等に対し支援を行い、地域経済の基盤となり雇用の受け皿となる工業の活性化を推進します。

主な事業

- 既存型工業の機械拡大等への支援

市民・地域への期待

市民・地域への期待

市民・地域への期待
商店街の魅力向上(事業者)
事業承継に向けた早期検討(事業者)
工業等の周辺住民・職域等への配慮(事業者)

※第2次香取市総合計画後期基本計画では、前期基本計画からレイアウトや項目が変更となる可能性があります。※上述したイメージは、聴取した意見を現行計画上のどの項目に該当するかを表しています。

2. 実施日時・場所

(1) 日時

1回目：2022(令和4)年6月12日(日) 10:00～12:00

2回目：2022(令和4)年6月15日(水) 18:30～20:30

※幅広い市民等の方へ出席いただくため、曜日・時間帯を変え2回実施しました。

※1回目、2回目ともに、同じプログラムで実施しています。

(2) 場所

香取市役所5階大会議室

3. 参加者

高校生から高齢者の方まで、幅広い年齢層や職業の方にお集まりいただき、合わせて54名の方にご参加いただきました(年齢層については後述の参加者アンケート参照)。また、市民等からの意見を伺う貴重な機会であるため、会議にはプロジェクトチームメンバー※も参加しました。

(1) 参加者数

1回目：高校生11名、市民等22名、プロジェクトチームメンバー7名

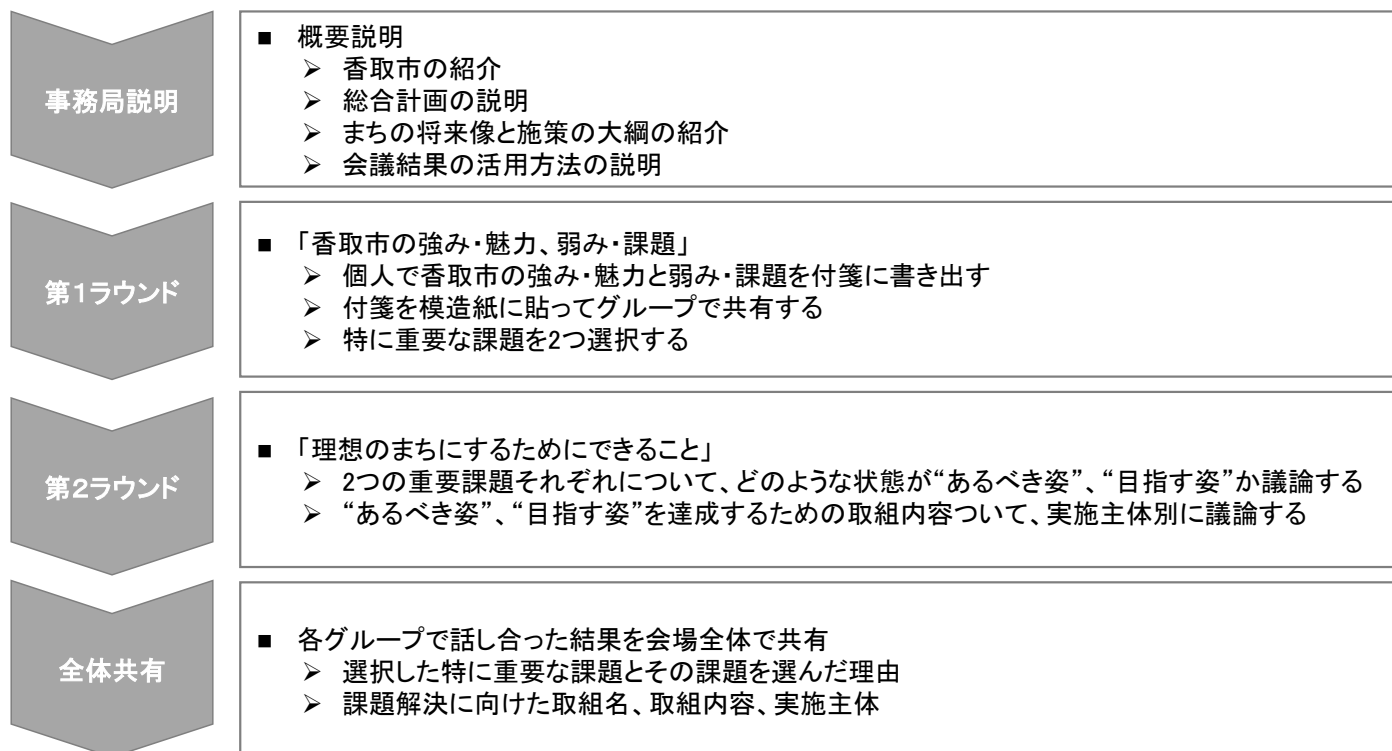
2回目：市民等21名、プロジェクトチームメンバー10名

※第2次香取市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、特定テーマの研究、先進事例等の研究や今後の施策立案を検討する際の中心となる香取市職員の選抜メンバー

2

4. プログラム内容

【全体の流れ】



プログラムの全体構成は、まず、現行計画の概略や当日の進め方など事務局説明を行いました。その後、1グループ6～7名で数グループを組み、グループ単位で第1ラウンド、第2ラウンドのテーマに沿ってグループワークを行いました。最後に、各グループにおいて話し合った内容を全体共有する目的で発表の時間を設けました。

第1ラウンドでは、各テーマに基づいて香取市の「強み・魅力」と「弱み・課題」を個人で書き出し、グループ内で共有しました。

そこから見えてきた「強み・魅力」及び「弱み・課題」の中でも、今後のまちづくりを進める上で、優先的に解決すべき課題や特に重要であると感じている課題をグループごとに2つ選定し重要課題としました。

なお、グループワークにあたっては付箋に自分の意見を書き出し、グループ内で発表や意見交換したうえで、模造紙の上に似た意見をグルーピングしながら、意見をまとめました。

第2ラウンドでは第1ラウンドで選択した2つの重要課題に対し「理想のまちにするためにできること」を検討しました。あるべき姿はどのようなものか、また、あるべき姿を目指すために、市民、団体、企業、行政がそれぞれどのような行動をすべきかについてグループ内で協議し、ワークシートにまとめました。

なお、第1ラウンド、第2ラウンドの実施にあたっては、時間的な制約もあることから、論点を絞ることでより深い、有意義な議論を促すためテーマを絞っています。具体的には、次の第2次香取市総合計画前期基本計画で定めた6つの大綱の中から、各グループにおいて意見交換したいテーマを選択し、2つのテーマ（大綱）についてグループワークを行いました。

◆第2次香取市総合計画前期基本計画で定めた6つの大綱

1. 産業・経済の振興	～産業の活性化によりまちの活気を高め、賑わいのあるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：農業、林業、畜産業、商業、工業、雇用、観光、地域産業振興、企業誘致、産業誘致など
2. 生活・環境の向上	～水と緑のやすらぎを感じ、安心・安全に暮らせるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+など
3. 健康・福祉の充実	～支えあい、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障害者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療など
4. 教育・文化の振興	～地域の歴史・文化を知り、未来を担う人を育むまちを創る～ 主な分野（キーワード）：学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術など
5. 都市基盤の整備	～安全で快適な魅力あふれるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道など
6. 市民参画・行政の取組	～みんなが力を発揮して将来に続くまちを創る～ 主な分野（キーワード）：市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革など

第2章 実施結果

1. 産業・経済の振興
2. 生活・環境の向上
3. 健康・福祉の充実
4. 教育・文化の振興
5. 都市基盤の整備
6. 市民参画・行政の取組

本章では先述した第1ラウンド（香取市の強み・魅力、弱み・課題及び重要課題）、第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」のグループワーク結果について、第2次香取市総合計画前期基本計画で定めた6つの大綱ごとにまとめています。なお、第1ラウンドの結果については、各グループワークの結果を個別に記載するのではなく、同様のキーワード、同様の付箋内容は1つにまとめ概要として表しています。第2ラウンドの結果については、グループごとに検討した、重要課題への対応策（目指すべき姿や各主体の役割）をそのまま掲載しています。

1. 産業・経済の振興

「産業・経済の振興」においては、農業、林業、畜産業、商業、工業、雇用、観光、地域産業振興、企業誘致、産業誘致などの分野をテーマに4グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「産業・経済の振興」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下のとおりです。

「強み・魅力」として、本市の基幹産業である農業に関する肯定的な意見（農業が盛ん、売り上げが大きいなど）、歴史的な街並み、伝統、観光、自然環境の豊かさのほか、人柄の良さが挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として産業全般に関する後継者不足や雇用環境の厳しさ、人口減少対策の必要性、観光分野のソフト・ハード面等多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
農業	小見川の田んぼ、田んぼの多さ、米がおいしい、農業、農作物の生産量の多さ、県下の米どころ、米・芋、ブランド化、アグリ事業の確立、農水省の補助金活用、6次産業化、農業の売上の多さ、豊富な農畜産物、農地が豊富 等
町並み	町並みが好き、伝統があり有名、古い建物、町並みの維持活動 等
道の駅	道の駅が2つある 川の駅がある 等
アクセス	都心から近い、成田空港が近い（訪日外国人）、ロケーションの良さ 等
企業誘致・就職支援	近隣市の企業への就労支援、地元企業への就職支援 等
観光	観光資源が豊富、小野川沿いの観光、観光客の多さ、自然の家での自然体験、おいしいご飯屋さんの多さ、テレビで紹介されている、佐原、大祭 等
自然環境	橋ふれあい公園、あやめパーク 等
地域資源	環境が壊されていない、歴史資産がある、古い町並み、祭り、どぶろく特区、温泉施設がいくつもある、小見川の花火大会がある 等
人のつながり	横のつながりが強い、仲良くなると協力的である、義理堅い 等
その他	無料婚活（月2回） 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
職業・就業 環境	農業後継者がいない、高齢化、林業の業者が少ない、職場が少ない、農業に携わる人の減少 等	「①農業・商業・後継者の不足」 「②働く場所が少ない」
人口減少	若者の流出、人口減少、田んぼの担い手不足、労働者不足、外の人が入りにくい、伝統の承継者不足、事業者が少ない 等	「③人口減少」
産業・PR	給料の良い企業の誘致、企業誘致が上手くいっていない、大手企業がない、土地がない、IT企業が少ない、就職先がない、大きな商業施設がない、商店街に元気がない、ブランド力がない、外への発信力が弱い、人の集まるランドマーク、都市型のスーパーがない、区画整備がされていない、香取神宮があまり活かされていない、米を売り出した店がない、畜産のイメージがない 等	「④第二次産業」 「⑤発信力が弱い」
起業支援	出店が難しい（家賃・場所）、起業後の収益化（第3次産業）、起業・誘致支援の使い勝手 等	「⑥起業支援」
観光	観光客用の駐車場がない、街中にトイレがない、観光客が通行する道路が危ない、佐原以外でお金を落とすところがない、観光PRが少ない、観光客の動線が悪い、公共施設と商店の定休日を統一した方がよい 等	「⑦観光地の改善」
建物・設備	駅前の活性化、涼しさを前面に出したイベントの開催、お店が少ない、若い観光客が少ない、川のスポーツをする人を呼び込む、図書館の閉館時間が早い 等	「⑧商店等の建物・設備が少ない」
小野川	小野川をもっときれいに、小野川以外の町並み 等	
遊び場	遊ぶところが少ない、公園が少ない、遊具も少ない 等	
その他	一方通行が多い、排他的、IT人材が少ない、Wi-Fiが少ない、観光、成田空港に近いが観光客が佐原には来ない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「第二次産業（農業の振興）」「働く場所が少ない」「人口減少」「農業・商業・後継者の不足」「発信力が弱い」「起業支援」「観光地の改善」「商店等の建物・設備が少ない」の8つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「第二次産業（農業の振興）」「働く場所が少ない」「人口減少」「農業・商業・後継者の不足」「発信力が弱い」「起業支援」「観光地の改善」「商店等の建物・設備が少ない」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、全般的に市内外に対する PR や広報活動などプロモーション活動の必要性や観光や農業をもっと強くするためのアイデアが出されました。

課題①：農業・商業・後継者の不足

目指すべき姿		農業・商業・後継者が豊かな街へ
主体	主体（詳細）	できること
団体	観光協会、商工会、農協	農業の良さをアピール：メディア発信、SNS を積極的に活用する。
行政	学校	農業を教育に活かす。
	国、千葉県、香取市	補助金を出す。

課題②：働く場所が少ない

目指すべき姿		働く場所を増やす
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	幼い頃から農業に触れる。
行政	—	企業誘致を行う。

課題③：人口減少

目指すべき姿		人口の自然増加
主体	主体（詳細）	できること
市民	芸術家、アーティスト等	「住むのは香取、働き先は都心」スタイル：現状を維持する。
団体	—	成田より土地が安いことを売り出す。
行政	—	大学誘致を積極的に行う。 外国の人も移住しやすいような政策を講ずる。

課題④：第二次産業

目指すべき姿		農業を生かせる第二次産業を生み出す
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	後継者の育成：農業に興味がある人を呼ぶ。
団体	—	農業の法人化：農地を活性化させる。
企業	—	IT を取り入れたスマート農業：法人化に向けての協力を依頼する。
行政	—	税制システム：多古町と連携する。

課題⑤：発信力が弱い

目指すべき姿		農業品のブランド化が進む
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	イベントの参加を通して理解を深める。
企業	農業関連団体・企業など	生産者、企業の連携を図ることができるような枠組みを設ける。 生産者への周知を目的として、情報提供を行う。
行政	香取市	積極的なPRを行い、補助金を出す。

課題⑥：起業支援

目指すべき姿		起業しやすい環境をつくる
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	にぎわいの創出に携わる。
企業	地元企業	経営支援、指導を行う。
行政	香取市	使いやすい支援制度を設ける。場所を提供する。

課題⑦：観光地の改善

目指すべき姿		観光客が来たくなる街づくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	商店	観光客へのあいさつ、声かけを積極的に行う。
団体	観光協会、商工会	定休日のローテーションを導入する。
行政	国、千葉県、香取市	駐車場、公衆トイレ、ゴミ捨て場を整備する。

課題⑧：商店等の建物・設備が少ない

目指すべき姿		買う場所・遊ぶ場所がたくさん
主体	主体（詳細）	できること
市民	小学生など	青空市への参加：手作りのものを市場・フリマで売る。
企業	商店	営業時間を長くする。
行政	香取市	青空市の実施：佐原・小見川エリアで、場所を貸して、市場やフリマを開催する。

2. 生活・環境の向上

「生活・環境の向上」においては、自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+などの分野をテーマに2グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「生活・環境の向上」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、豊かな自然が残っていることや地域のつながりが強いこと等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として、利根川の氾濫等による水害への対策、災害発生時の対応（緊急車両の通路の確保や情報収集等）、公園のトイレや生活排水などの衛生面の問題等多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
自然の豊かさ	自然が豊か、防災マップ、星が見える、水の駅（水辺空間）、空気がきれい、利根川の恵み 等
人の良さ	人が親切、助け合いの意識が高い、見守り意識が高い、干渉がない 等
地元愛の強さ	地元愛が強い、シビックプライド、神社のお掃除 等
その他	香取神宮 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
利根川	自然エネルギー、大河に近い、利根川の氾濫が心配である、利根川下流域の整備、ジャンボタニシ 等	「①利根川の河川政策」
自然環境	水害が怖い 等	「②水害への備えが不十分」
道路事情	道路が狭い、凸凹している、狭く緊急車両が通りにくい、道路標識がわかりにくい、歩道が少ない 等	「③道路事情の改善」
防災に強いまちづくり	市域が広すぎる、市内のアクセスが悪い、道路が狭い、交通事故、不法投棄、市街で働く人が多い、夜出歩くのが怖い、人が少ない、防災対策が悪い 等	
情報伝達	市民団体の連携・情報共有、情報が取得しにくい 等	「④情報伝達が悪い（防災）」
その他	花粉症が多い、住宅が密集している、住宅が古い、高齢者の多さ、佐原の町並みをもっと活用できる、空き家問題、空き家バンクが機能していない、川の水をきれいにしたい、生活排水が適切に処理できていない、公園のトイレが汚い、多目的なトイレが欲しい、公園管理が悪い（ゴミ箱等） 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「利根川の河川政策」「水害への備えが不十分」「道路事情の改善」「情報伝達が悪い（防災）」の4つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「利根川の河川政策」「道路事情の改善」「水害への備えが不十分」「情報伝達が悪い（防災）」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、災害発生時に備えて平時から市民、団体、企業、行政のそれぞれがやるべきことについてのアイデアが出されました。

課題①：利根川の河川政策

目指すべき姿		自然を生かした治水・防災対策
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	利根川につながる川を含めた河川清掃 植林の協力：自然を生かして植林する。
団体	民間組織	桜並木を植林：自然を生かして植林する。
行政	国、香取市	防災マップの作成：昨今の異常気象などに対処できるようにする。

課題②：水害への備えが不十分

目指すべき姿		不安のない住み続けられるまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	どこに避難すべきか知る。
団体	自治会	防災対策について話し合う。
企業	地元企業	企業を避難所として活用する、行政と企業の両面から周知する。
行政	香取市	情報発信、災害時の指示を明確にする。 ペットも含む避難所の充実を図る。

課題③：道路事情の改善

目指すべき姿		子供から大人まで、観光客も安全に利用できる道路
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	ゴミ拾いを行う。
企業	—	安全や人命を優先し、安全な運転管理を行う。
行政	—	予算を増やす。 クラウドファンディングを実施する。

課題④：情報伝達が悪い（防災）

目指すべき姿		災害弱者がとり残されないまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	近所への声かけ、地域の情報を知る。
団体	民生員・消防団、自治会	各種団体が連携して見回りを行う。
企業	地元企業	災害時の社員の管理や物資の協力・防災活動に協力する。
行政	香取市	様々なツールで情報をタイムリーに発信する。 車で地区をまわる。

3. 健康・福祉の充実

「健康・福祉の充実」においては、地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障害者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療などの分野をテーマに4グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「健康・福祉の充実」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下のとおりです。

「強み・魅力」として、医療・福祉に関する環境の充実に関する肯定的な意見（施設が多い、対応が良い、補助があるなど）、自然環境の豊かさ、人の良さ、祭り文化の存在等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として公共施設の整備に関する問題（老朽化、統廃合、アクセスなど）や地域活動・コミュニティの重要性および担い手不足、その他にも高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、地域医療など様々なトピックに関する課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
高齢者福祉	地域包括化の仕組みが良い、デイサービスが多い、リハビリ施設が多い 等
健康づくり	助け合って生きている、スポーツを行っている 等
自然環境	土いじりができる、虫がいる、空が広い、自然が豊か、都会にない環境、野菜がとれたて 等
子育て環境	子育てに関して市の受付の対応が良い、孤育てになりづらい、保育園が良い、待機児童が少ない、保育園が広い、自然の中で遊べる、産婦人科 等
人の良さ	子どもがあいさつしてくれる、人が優しい、近所で子どもを見守る 等
祭り	文化、祭り、スポーツ、食文化 等
医療	高校生まで医療費補助、子どもの医療費 300 円、3 歳以上無償化、産科医院ができる 等
その他	通学バスが便利、町内会ネットワークが強い、高齢者ふれあいセンターが活発、ホテル・メダカ、自然が豊か、佐原県立病院による訪問看護が充実、移動販売がある、地域で子どもを見守る 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
公共施設	1か所にまとめすぎでお年寄りが大変、児童館が1か所しかない、学校統廃合しがち、保育所の老朽化、公共設備が汚い、バリアフリーが不十分 等	
地域活動	ボランティアの活動の認知度が低い、まちづくり協議会の活用・支援、縦割りの活動が多く横断的でない 等	
高齢者福祉	地域サロンが高齢者同士の支えあいに、高齢者の給食サービス、独居者、高齢者との交流、高齢者施設がもっと欲しい、介護予防、老人の多さ、デイサービスの充実 等	
安定した生活基盤	孤立防止、自宅で過ごす、一人暮らしの高齢者の増加、病院への送迎、生活の足、MaaS 等	「①安定した生活基盤」
地域コミュニティ	地域で子育て、社会人になってから戻ってくるきっかけ、子どもを育てるお金、産業がない 等	「②地域コミュニティ創出」 「③子育て世代への経済支援」
少子化	少子化、小学生が年々減少している、若者が引っ越したいと思わない 等	「④少子化」
学校・保育	給食費が無料でない、学校廃校、保育所が高い、児童保育ができない場所がある、子どもを産んだ後の施設の充実 等	「⑤子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」
障がい者福祉	街中に障がい者親子の集う場所が欲しい、障がい者への対処がまだ 等	
医療	市内で出産できない、市内に24hの小児科がない、産科ができて小児科がないと産めない、医療資源が乏しい 等	「⑥安心して出産できる医療体制の乏しさ」
その他	間の世代がない、人口減少、少子化、母子手帳問題、高齢者の移動手段が不足、習い事で週3日市外、遊ぶ場所・公園が少ない、靴を買うところがない、産婦人科がない、町内会が形だけ、民生委員の不足、子どもが安全に遊べる遊び場がない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「安定した生活基盤」「地域コミュニティ創出」「子育て世代への経済支援」「少子化」「子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」「安心して出産できる医療体制の乏しさ」の6つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「安定した生活基盤」「地域コミュニティ創出」「子育て世代への経済支援」「少子化」「子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」「安心して出産できる医療体制の乏しさ」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、子育てに関するアイデアが多く出され、地域コミュニティを強化し子育て世代を孤立させないようにすることや子育て支援施設の整備、さらには経済支援を行うことなどが挙げられました。

課題①：安定した生活基盤

目指すべき姿		すべての世代が安心して暮らせる
主体	主体（詳細）	できること
市民	異なる世代	世代間交流：相互で見守ることで孤立を防止する。
団体	—	送迎サービス：子供と高齢者の生活の足にする。
企業	—	テレワーク、ワーケーション：自由な働き方を推進していく。
行政	—	学校・企業の誘致：地域で子育てができるシステムを作る。 子育て支援の充実：子供手当の拡充を行う。

課題②：地域コミュニティ創出

目指すべき姿		誰でも参加できる場作り
主体	主体（詳細）	できること
市民		新しく来た人を受け入れる。
行政	香取市	イベントの実施：移住・定住者に向けてイベントを実施する。

課題③：子育て世代への経済支援

目指すべき姿		子育て世代への経済支援を強化
主体	主体（詳細）	できること
団体	NPO 法人	放課後児童クラブ、発達支援：各地域に設置する。
行政	香取市、千葉県	子育て世代に対する支援：給食費、保育料を負担する。

課題④：少子化

目指すべき姿		若者が住みたい街
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	「孤立させない」をテーマに：住民同士のネットワークを作る。
団体	自治会	多世代との交流：集会場を解放する。
企業	民間企業	雇用創出：娯楽施設を充実させる。
行政	香取市	子育て環境の整備：公園や保育所等を整備する。

課題⑤：子供を産んだ後の子育て施設の少なさ

目指すべき姿		子供を産んだ後の子育て施設の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	個人 「親子サロンぐらんま」	一般の親子を対象：補助金をもらい、個人や私営で設備の提供を行う。
	社協 「おもちゃ図書館どんどんぐり」	障害のある方、ない方、未就園児の遊び場：補助金をもらい、個人や私営で設備の提供を行う。
企業	—	小児病棟（入院施設）を誘致する。
行政	—	公園の設備の充実・遊休地の活用：遊び場に解放し有効活用する。 地域での子供の居場所づくり：女性が育児を最も負担に感じる月曜日も解放したり、親子で集えるサロン（母親に寄りそえるような場所）を開所する。

課題⑥：安心して出産できる医療体制の乏しさ

目指すべき姿		安心して出産できる医療体制の整備
主体	主体（詳細）	できること
行政	香取市、千葉県	県立佐原病院の機能拡充 小見川医療センターの機能拡充：産科、小児科の連携を図る。

4. 教育・文化の振興

「教育・文化の振興」においては、学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術などの分野をテーマに5グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「教育・文化の振興」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下のとおりです。

「強み・魅力」として、学校と地域のつながりの強さや学校数の多さ、水上スポーツが活発なこと、歴史・文化に触れる機会が多いこと、郷土愛が強いこと等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として公共施設の老朽化や利便性向上、学校教育の質向上、給食無償化、歴史文化資源の有効活用、伝統文化の後継者不足など多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
学校と地域のつながり	学校と地域が身近、地域が子供を見守る姿勢が根付いている、近所づきあい、廃品回収に協力的 等
学校教育	公開講座、学校の多さ、機械類等の設備、スクールバス、パソコン教育の導入、高校が3つある、授業や部活で伝統芸能に触れる機会がある、高校が多い 等
青少年の育成	少年自然の家でのボランティア、スポーツ少年団、忠敬記念館、自然を活用したスポーツ、祭り 等
スポーツ	スポーツにおける子供たちの活躍、水上スポーツ（ボート・カヌー）、DeNA 栗飯原龍之介選手（プロ野球選手） 等
自然豊か	自然豊か、緑豊かな町である 等
歴史・文化	佐原の町並み、山車、町並みの中を登下校、文化協会の活動が盛ん、歴史的魅力のある町、香取神宮、伊能忠敬、芸術の発表の場が充実している、郷土愛の強さ、佐原の大祭、県外に誇れる場所が多数残っている、歴史を大事にしている、県内唯一のユネスコ認定 等
その他	児童館の先生が優しい、のんびりした雰囲気（山田地域）、方言かわいい、オンラインで図書利用が可能 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
少子化	子どもが少ない 等	
公共施設	美術館が欲しい、総合スポーツ施設がない、教育施設、環境の整備、学校設備の老朽化、学校の規模が小さい、公共施設の利用率の低さ、広い芝の広場が欲しい、図書館の開館時間を長くして欲しい、勉強できる場所が欲しい、子どもたちの遊び場不足、人が集まる場所がない、子どもが遊べる公園、地域交流が少ない、公園の管理がされていない（雑草が生えている） 等	「①公共施設が少ない」
土地利用	土地利用、市街地整備、町並み整備 等	「②土地・水を生かした設備が必要」
学校教育	高校生にもタブレットが欲しい、高校数が少ない、学費が高い、校舎やトイレなどの学校の設備を新しくしてほしい、給食が美味しくない、給食を無償化して欲しい、学校のプールが汚い、教育に時間がかかる、お金がかかりすぎ、サポート・カウンセリングが少ない、部活の発表の機会が欲しい、生徒数の減少、近くの学校との交流がない、廃校の活用、学校の開放、空き校舎の利用 等	「③学校の教育設備が古い・不十分」 「④生徒数が少ない」 「⑤学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」 「⑥学校教育（給食がおいしくない）」
通学	通学路の整備をして欲しい、電車の本数を増やしてほしい 等	
古い価値観	アナログ重視、大人のアップデートができていない 等	「⑦文化・歴史の弊害」 「⑧アナログ重視文化」
事業支援	個人事業主のサポート、大学（サテライトでも）、テレワーク、ワーケーション 等	
遊び場	子どもたちの遊び場不足、人が集まる場所がない 等	「⑨場所の有効活用」
歴史・文化	歴史の伝承、芸術鑑賞の機会の少なさ、祭り、継承者の不足、歴史をもっと目立つように発信するべき、伊能忠敬館がつまらない、歴史や文化に対するプライドが足かせ 等	「⑩歴史文化資源の活用」
その他	ボランティアがあまり役に立っていない、祭礼の参加のしにくさ、観光資源の活用、悩み相談先がない、学生と街のつながり不足、コミセンが利用されていない、他団体の成功事例を収集していない、市の方向性がわからない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「公共施設が少ない」「土地・水を生かした設備が必要」「学校の教育設備が古い・不十分」「生徒数が少ない」「学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」「学校教育（給食がおいしくない）」「文化・歴史の弊害」「アナログ重視文化」「場所の有効活用」「歴史文化資源の活用」の10課題が抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「公共施設が少ない」「土地・水を生かした設備が必要」「学校の教育設備が古い・不十分」「生徒数が少ない」「学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」「学校教育（給食がおいしくない）」「文化・歴史の弊害」「アナログ重視文化」「場所の有効活用」「歴史文化資源の活用」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、学校をはじめとした公共施設の利活用や教育現場における相談等のサポート体制の充実、学校給食の味の改善、歴史・文化資源の利活用、伝統に縛られない各主体を巻き込んだ新しい取組の推進等に関するアイデアが出されました。

課題①：公共施設が少ない

目指すべき姿		公共施設を充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	積極的に利用してもらう。
行政	香取市	計画的な整備を行う。

課題②：土地・水を生かした設備が必要

目指すべき姿		水上スポーツなどの活性化
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	今あるスポーツ設備を使う。
団体	学校	授業で町並みに触れる機会をつくる。写生など町並みを教育に活かす。ウォークラリーを行い、町並みを活かしたスタンプラリーなどを実施
企業	動画配信企業など	ウォークラリーを行い、商品無料券などを配る。大規模動画配信イベントと小野川沿いでコラボする。
行政	香取市	あやめ祭や水上スポーツなど水を活かしたイベントを開催する。体育館など、気軽に借りることができるような体制を作る。スポーツ施設を個人へ貸し出せるようにする。

課題③：学校の教育設備が古い・不十分

目指すべき姿		教育設備の充実
主体	主体（詳細）	できること
企業	—	体育館・グラウンドなどの施設を開放してもらう。
行政	学校	図書館の夜間営業：学生が放課後も有効活用できるようにする。冷暖房の充実：学生がエアコン・ストーブをいつでも使えるようにする。トイレの洋式化：和式トイレで水が流れないなどの不十分な点を改善する。

課題④：生徒数が少ない

目指すべき姿		生徒数の増加
主体	主体（詳細）	できること
市民	生徒	要望・意見を発信する。
企業	—	雇用拡大：事業の拡大を図る。
行政	千葉県	魅力アップ：施設の改修、制服の改良、特色のあるカリキュラムの設定、積極的な PR の実施に取り組む。

課題⑤：学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）

目指すべき姿		サポート・カウンセリングの充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	子供の家	学校外で多世代交流の場を設ける。
団体	—	部活動に関して、地域の方と連携し、サポートしてもらう。
行政	香取市	市の担当者による悩みごとの相談場所を設ける。

課題⑥：学校教育（給食がおいしくない）

目指すべき姿		子供が笑顔で食せる給食
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	生徒たちへのアンケート：生徒をお客様だと思っでの意見収集を行うとともに、学校開放デーで給食の試食を実施する。
企業	地元の農家	農家との直での食材の搬出：フードロスとなっている食品を提供してもらえないか交渉する。
行政	香取市	地産地消：香取市の農業ブランドをもっと活かす。 財源の確保：給食費の無償化を目指す。

課題⑦：文化・歴史の弊害

目指すべき姿		行政の透明性
主体	主体（詳細）	できること
市民	空き家をもっている人	空き家バンクに登録し、活用してもらう。 よそから来た人に welcome 感が少ないため、対面での交流の場を設ける。
団体	商工会議所	歴史にとらわれずに、取組を展開する。
行政	—	先進的な取組を行っている企業と連携する。

課題⑧：アナログ重視文化

目指すべき姿		0ベースから再構築
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	行政へ声をあげる：市民と行政がつながれる窓口をつくる。
団体	—	ワークショップの場を設ける。
企業	—	市の窓口多様化を提供する。 移住者と交流する。 ZOOM等を活用し、協業ビジネスを生む。
行政	香取市	窓口のデジタル化を進めるとともに、ZOOM、LINEを活用する。 多世代交流ができる、ブレインストーミング、ワールドカフェ方式の場を設ける。 包括支援センターや保健師などは産業医活動等を企業と連携する。 儲けることができる市役所になる。

課題⑨：場所の有効活用

目指すべき姿		地域の活性化
主体	主体（詳細）	できること
行政	—	廃校の活用：子供が遊べる公園を増やしたり、シェアオフィスなどに活用する。

課題⑩：歴史文化資源の活用

目指すべき姿		歴史文化資源の再発見
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	自分のまちを好きになる。 文化の伝承・デジタル化を行う。
団体	—	資源を活用したイベントを実施する。

5. 都市基盤の整備

「都市基盤の整備」においては、都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道などの分野をテーマに6グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「都市基盤の整備」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、自然の豊かさや佐原の町並み（歴史ある町並みと生活の共存）、のどかで住みやすい住環境、小見川地域の住宅増加、利用できる土地の多さ、道の駅の存在等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として空き家・空き地の増加や道路事情の悪さ（道幅が狭い、舗装がされていない、通学路が整備されていない等）、公共交通の不便さ（電車・バスの本数の少なさ、路線が通っていないエリアの存在）、上下水道の老朽化等の課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
自然豊か	自然とコラボできる、利根川がある、二十四節気を感じる土地 等
歴史・文化	佐原の町並み、香取神宮等の歴史的価値 等
町並み	歴史ある町並みと生活の共存、古い建物を保管・維持している、古民家ホテル、重要伝統的建造物保存地区の町並み、佐原の町並み、歴史がある、イノベーション、観光客の増加 等
住環境	のどかで住みやすい、住環境、道路、町並みがきれいに残されている、小見川の方面に新しい家が建ってきている 等
空き家・土地の活用	土地が広い、駅前に空き地がたくさん 等
道路事情	歩道が歩きやすい、道路整備、メイン道路がある、道の駅が2つある 等
その他	地産地消、高齢者に優しいまちづくり、地震が起きても水を汲める場所がある、田畑を体験式にしている、住環境、自然が多い、井戸水が出る場所が多い、住環境 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
商業	市街地の衰退、コンビニが少ない 等	
遊び場	公園がない、ベンチなどがない、娯楽が年配者向けのものばかり 等	
財政	財政支出の塩梅が雑、老人主体の財政予算 等	
住環境が 不便	佐原以外整っているイメージがない、市街地整備、シャッター通り、自然を生かしたい、農地の利用方法、大きなスーパーがない、法人の誘致、営業倉庫、やりっぱなし行政、都市部への人口流出 等	「①街の整備」 「②住環境が不便」
空き家・土 地の活用	空き家が多い、空き家が増え火災が怖い、空き家情報の発信がない、土地の有効利用、河川が荒れている（雑草）、河川沿いのガードレールなどの設置、すぐに借りられない、空き地の草・倒木 等	「③空き家が多い」 「④空き家・空き地の増加」 「⑤空き家問題」
道路事情	幹線道路網整備、幹線道路等の幅が狭く歩道が少ない、歩道の整備、舗装されていない、ミラーの設置方法、道の駅周辺の交通量の多さ（土日）、道路整備が不十分、通学路の整備、一方通行の道路が多い、避難所までの道が狭い、自転車がこぎにくい、信号の変わる時間が早い 等	「⑥道路が不便」 「⑦道路整備が不十分」
公共交通	公共交通が不便、電車・バスの本数が少ない、都内からのアクセスが1～2時間、高速バスの本数が少ない、バス利用者が少ない、公共交通が市内全域に網羅されていない、高齢者の移動手段、山田・栗源・加藤洲から市役所に行くのが大変、観光地が離れている、主要道路が少ない、バス乗り場が観光客にわかりにくい、サークルでの移動が不便、佐原・小見川の街なかの道が狭い 等	「⑧道路が不便、交通の便が悪い」 「⑨公共交通機関が不便」 「⑩移動手段が少ない」 「⑪交通機関が不便」
上下水道	水道料金が安い、上下水道の老朽化、上水道 100%にして欲しい、上水道の今後、上下水道のない地区 等	
その他	河川防災、住環境（税金）、太陽光パネル以外の活用、佐原以外活かされていない、5G、土地代が高い、町並み、お店問題、公園が少ない（サッカーができるような大型公園）、下水流の処理区域が少ない、駐車場がない、市街が衰退、橋が少ない、小野川の水質改善 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「街の整備」「住環境が不便」「空き家が多い」「空き家・空き地の増加」「空き家問題」「道路が不便」「道路整備が不十分」「道路が不便、交通の便が悪い」「公共交通機関が不便」「移動手段が少ない」「交通機関が不便」の11課題が抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「街の整備」「住環境が不便」「空き家が多い」「空き家・空き地の増加」「空き家問題」「道路が不便」「道路整備が不十分」「道路が不便、交通の便が悪い」「公共交通機関が不便」「移動手段が少ない」「交通機関が不便」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、市民が主体的にまちの魅力を発信することや適正管理・マッチングによる空き家・空き地の解決のほか、電車・バス本数の増加だけでなく、多様な主体と協力した交通体系の構築等、公共交通の利便性向上のためのアイデアが出されました。

課題①：街の整備

目指すべき姿		街の人がこの街の魅力を話せる
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	街を紹介した小冊子を作る。 何もかも新しくすればよいわけではない、古き良き文化を大切に する。 学生がオンラインやインスタを活用して、小冊子を作成する。
企業	—	ポップな小冊子（フリーペーパー）を作り、街の特長を自社につ ながりがあるところへ発信する。
行政	—	主体的にやっていくトップダウン お金をかけず、まずやってみる精神で取り組む。 古い建物を保存していく。 インターネットプラットフォームを活用したコミュニティづく り：Facebook などを用いて香取市住民のコミュニティを作る。

課題②：住環境が不便

目指すべき姿		自分自身が住みやすいまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	ボランティアに参加する。
団体	ボランティア団体	市の良い点を周知する、住みやすさをアピールする。
行政	香取市、千葉県、国	中心市街地の活性化、まちのにぎわいを取り返す。

課題③：空き家が多い

目指すべき姿		空き家・土地の活用
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	空き家になる前に行政へ相談
団体	—	空き家の再利用・商業化
行政	香取市、国	情報発信：空き家（土地）の積極的な売却を行う。

課題④：空き家・空き地の増加

目指すべき姿		空き家・空き地の有効活用
主体	主体（詳細）	できること
市民	空き家・空き地の所有者等	適正管理：相続を放置しない、空き家バンクへの登録を行う。
団体	自治会	空き家の把握：コミュニティの強化と手入れを行う。
企業	不動産業者等	空き家の流通：空き家を活用したい人とのマッチングサービスをつくる。
行政	香取市	空き家バンク：所有者相談窓口を充実させる。 廃校の利用：企業等へアプローチする。

課題⑤：空き家問題

目指すべき姿		空き家を有効に活用する
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	空き家バンクへの登録を行う。
行政	—	空き家バンク：農地と土地セットで空き家情報を更新するとともに、市のホームページを積極的に活用する。

課題⑥：道路が不便

目指すべき姿		道路整備（歩道）
主体	主体（詳細）	できること
市民	道路沿いの住民	整備に必要な用地を提供してもらう。
行政	香取市、千葉県、国	主体的に計画・実施を行う。

課題⑦：道路整備が不十分

目指すべき姿		安心・安全な通学路
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	危険個所の共有：SNSなどで発信する。
行政	香取市	道路整備：市民への呼びかけを行うとともに、計画的に道路を新設する。

課題⑧：道路が不便、交通の便が悪い

目指すべき姿		道路の整備、交通の便を改善
主体	主体（詳細）	できること
企業	鉄道会社、バス会社	観光客を増やし電車・バスの便を増やす。
行政	国、千葉県、香取市	歩道・ミラーの整備を行う。 道路の拡幅を行う。

課題⑨：公共交通機関が不便

目指すべき姿		公共交通機関の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	積極的に利用する。
企業	JR、バス会社	ダイヤ改正：本数の増加を図る。

課題⑩：移動手段が少ない

目指すべき姿		移動困難者を取り残さないまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	公共交通を利用する。 アンケートなどを通して、ニーズを共有する。
団体	市民活動団体、 ボランティア団体	行政と連携し、せまいエリアでの送迎を実施する。
企業	地元企業 (タクシー・バス会社)	利用しやすいダイヤの改正、夜も利用しやすい送迎車を実装 ゴルフ場、病院での送迎を活用する。
行政	国、香取市	公共交通を充実させる、理解しやすいルートを確認する。 団体と連携し、広いエリアでのルートを確認する。

課題⑪：交通機関が不便

目指すべき姿		交通機関の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	近所の人を乗せる：車での送迎など近所の移動支援を行う。
団体	NPO 法人	生活支援、移動支援ボランティア：ドライバーを確保する。
行政	—	法人の広報を行う。

6. 市民参画・行政の取組

「市民参画・行政の取組」においては、市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革などの分野をテーマに1グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「市民参画・行政の取組」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下のとおりです。

「強み・魅力」として、地域のつながりの強さに関する意見（まちづくり協議会、自主防災意識の高さ、自治会組織率の高さ）や佐原の大祭（大祭に向けた市民の団結）等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として地域活動やボランティアの高齢化や後継者不足、各地区の連携不足、サロンなどの交流機会の創出、自治会の活性化等に関する課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
地域の つながり	各集落・地区の団結、地域単位の住民自治、助け合いの心、まちづくり協議会、行政主導の地域の集い場、自主防災意識の高さ、自治会の組織率の高さ 等
観光・お祭り	インバウンドへの対応、交流人口増加に向けたイベントの多さ、佐原の大祭、観光資源の多さ、大祭への市民の団結した参加意識 等
その他	成田空港の近さ 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
後継者不足	自治会の役員の成り手がいない、ボランティアの後継者不足、市民団体同士の横のつながり、高齢化が進んでいる 等	「①後継者の不足」
地区連携の 不足	各地区の連携が不足している、旧4市町の足並みが揃っていない、都市部の権力者に牛耳られている 等	「②各種団体の連携不足」
交流の場を 充足	女性の活躍の場、婚活（無料） 等	
サロン	サロンに代わる集まり、サロンの参加者数の低迷 等	
自治会	若い人の役員登用、役員の行動力がない 等	
施設	総合グラウンドや武道館がない（室内競技） 等	
その他	子どもが少ない、車を使わないと不便、フィルムコミッション 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「後継者の不足」「各種団体の連携不足」の2つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「後継者の不足」「各種団体の連携不足」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか意見交換し、以下のとおりまとめました。

本分野に関しては、市民1人ひとりが積極的にイベントに参加することや自分事として捉えて活動すること、団体間の横のつながりを構築すること、行政が旗振りを行い各種団体の一体感を醸成すること等といったアイデアが出されました。

課題①：後継者の不足

目指すべき姿		多世代の共生
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	もっと積極的にイベントに参加する。 自分ごとにとらえて参加する。
団体	—	横のつながりを密にする。
行政	—	横のつながりを持つ。 子供を産む前の子供支援を充実させる。

課題②：各種団体の連携不足

目指すべき姿		区の枠組みを外す（旧市町）、市として一体的に取り組む
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	意識の改革を行う。
団体	—	個々の取組から連携した取組へ移行する。
行政	—	行政が積極的に発信し、一体感を醸成する。

第3章 参加者アンケート

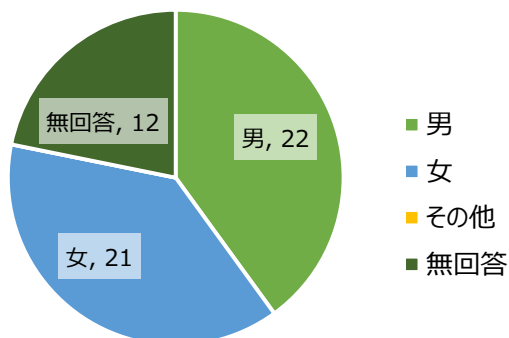
1. 参加者アンケート

1. 参加者アンケート

かとりみらい会議終了後、ワークショップの感想や今後のワークショップの設計にあたっての参考意見を聴取するため、任意で無記名の参加者アンケートを実施しました。なお、参加者は54名ですが、一部重複回答（アンケート用紙の重複提出）があったことから、各質問の総数が55となっています。

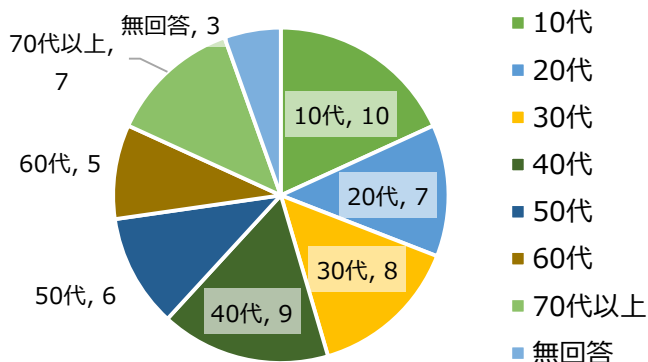
(1) 性別

参加者の性別は、「男」が22人、「女」が21人となっています。



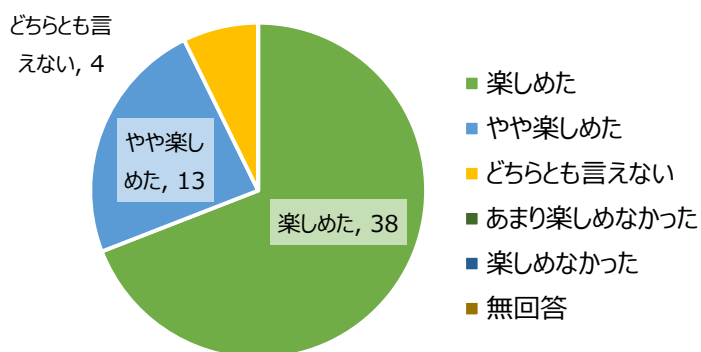
(2) 年齢

参加者の年齢は、「10代」が10人、「20代」が7人、「30代」が8人、「40代」が9人、「50代」が6人、「60代」が5人、「70代以上」が7人となっています。



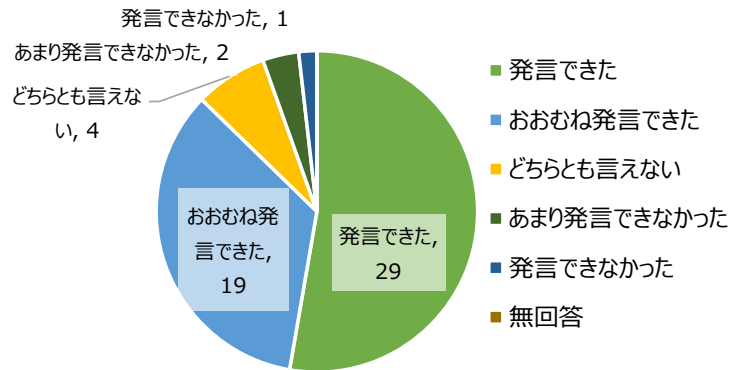
(3) 本日のかとりみらい会議はお楽しみいただけましたか？

「楽しめた」「やや楽しめた」の合計が51人(92.7%)となっています。



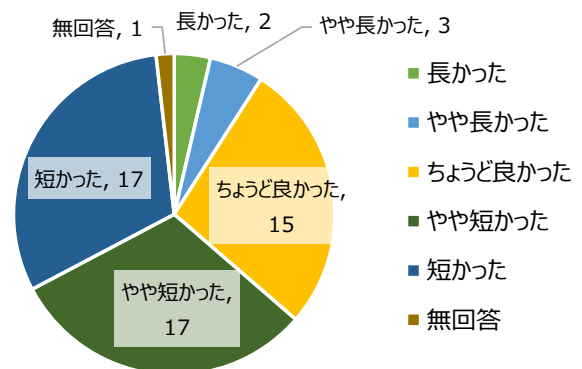
(4) 本日のかとりみらい会議では、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

「発言できた」「おおむね発言できた」の合計が 48 人 (87.2%) となっています。



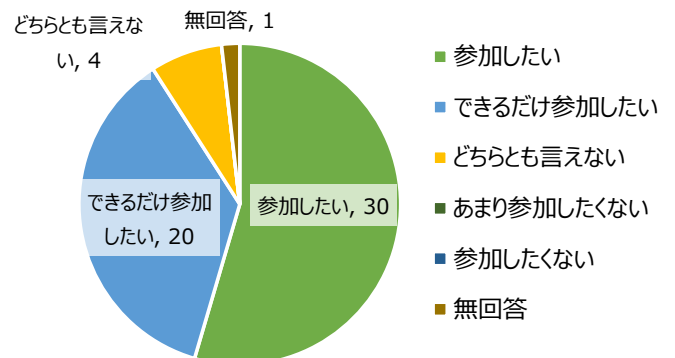
(5) 本日のかとりみらい会議の話し合いの時間(長さ)は、いかがでしたか？

「ちょうど良かった」が 15 人 (27.2%)、「やや短かった」「短かった」の合計が 34 人 (61.8%) となっています。



(6) 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？

「参加したい」「できるだけ参加したい」の合計が 50 人 (90.9%) となっています。



(7) 自由記述

- 市長や議員だよりにしなくて、住む人達が市に関心をもって、住みやすい町になったらいいと思います。
- 東京から移住して 1 年となりますが、このように前向きに活動されている方々とお話できる機会は貴重なので楽しかったです。
- 幅広い年齢や考えかたを持つ人とともにディベートができ、とても良い機会だったと感じました。
- 今まで行政に対して色々思うこともあったが、今回はその思いが行政に反映されるということでもわくわくした。
- 多世代、異業種の方とお話しする機会が子育て中だとなかなかないのでとてもよかったです。
- 思っていた以上に香取市の将来を考えている人がいるんだと知ってうれしく感じました。

(参考) 当日ワークシート

1. 当日ワークシート

